

肺癌コンパクトパネル（7 遺伝子）CDx		P000050		
		担当部署		
		病理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダー手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→ ※専用依頼書が必要		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満48時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 4) コーティング加工がされていないスライドガラス		
検査受付時間				
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。		
検体採取の特別なタイミング		治療の前		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	未染スライドガラス 容器番号 30 遺伝子検査用標本スライド容器	無	10	枚
2	凍結検体 Elition Tubes 0.5ml	無	1 (1mm 角) -70℃以下 で冷凍	mg
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温、冷凍		

検体受入不可基準	オーダーがない。					
保管検体の保存期間	パラフィンブロック：半永久 * 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡					
検査結果・報告						
検査室の所在地	病院棟 4 階 病理診断科					
測定時間	6～12 日					
生物学的基準範囲	該当なし					
臨床判断値	変異ありもしくは変異なし					
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因	該当なし					
臨床的意義	<p>本検査は非小細胞肺癌に対して、承認薬剤に対応する 7 つの遺伝子を次世代シーケンサーを用いて検出し、薬剤適応判定の補助を目的としたマルチプレックス検査です。「肺がんコンパクトパネル®Dx マルチコンパニオン診断システム」はコンパニオン診断システムとして、EGFR 遺伝子変異、ALK 融合遺伝子、ROS1 融合遺伝子、METex14 スキッピング変異、KRAS G12C 遺伝子変異、BRAF 遺伝子変異、RET 融合遺伝子の検出が可能であり、非小細胞肺癌における抗悪性腫瘍剤の適応 判定の補助が可能です。</p>					